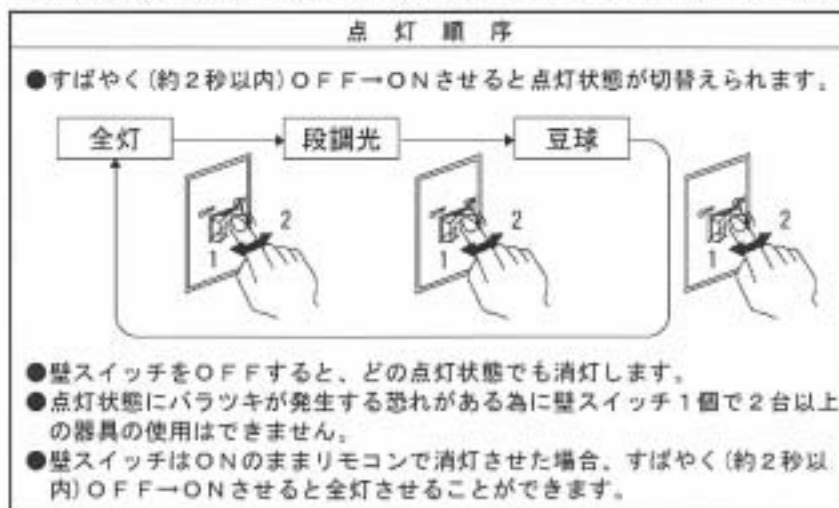


操作方法

必ず壁スイッチのある部屋又はリモコンと組み合わせてご使用ください。

壁スイッチによる操作方法

■この照明器具は壁スイッチを使って、点灯状態が切替えられます。

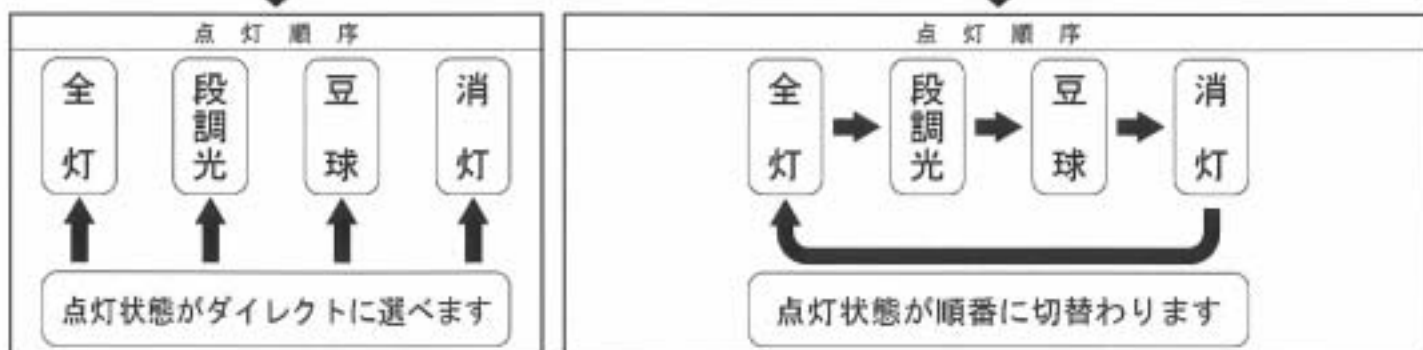


- 長時間使わない時には壁スイッチをOFFにしてください。(節電のため)
- 壁スイッチをONでリモコン消灯するとリモコン待機(1.5W以下)の電力を消費します。
- 非常に短い停電が起こると点灯状態が切替わる場合があります。

リモコンによる操作方法

本商品のおすすめ送信器はZ-654W・HK9339です。

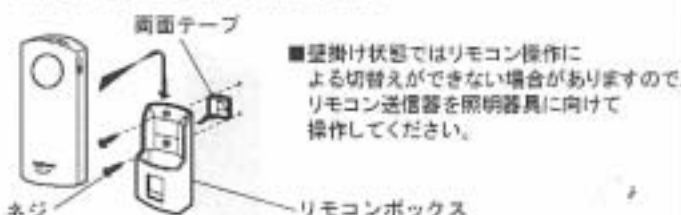
■下記のリモコン(松下製)で操作できますが、点灯切替は4段階(全灯・段調光・豆球・滅)になります。



- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- 点滅操作できない場合にはP.7「こんなときには」の項に従って確認してください。
- リモコンを落としたり強い衝撃を与えないでください。
- 室温が低いと(10℃以下程度)点灯直後、リモコンで切替えにくい場合があります。その際は、しばらくしてから切替えてください。

リモコンボックス

(紛失防止用として壁掛け収納できます。)



yamagiwa 取扱・施工説明書

保管用

高調波ガイドライン
適合品

品番 W-834, W-836

お客様へ

お買い上げありがとうございます。

ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと必ず保管してください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

警告

■こんな場所には取付けないでください。 この器具は天井面取付専用です。指定場所以外に取付けると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。 55度を越える傾斜した場所 壁面 不安定な場所 補強のない場所 (ベニヤ板や石膏ボードなど) ケースウェイに取付いているもの	■交流100ボルト以外では使用しないでください。 過電圧を加えると、火災・感電のおそれがあります。 ■こんな配線器具には取付けないでください。 火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。 ヒビ割れ 欠け 破損しているもの ガタつくもの 配線だけのもの ●配線器具の交換が必要です。 配線器具の交換には資格が必要です。 工事店、電器店に依頼してください。
■異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。 工事店、電器店、(別紙)ご相談センターにご相談ください。	■器具を改造したり、部品交換をしないでください。 火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

注意

■温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。 器具の真下にストーブなどを置かないでください。火災の原因となる場合があります。	■浴室などの湿気の多い場所や、屋外で使用しないでください。 この器具は非防水です。火災・感電の原因となる場合があります。
■他の調光器と組合せて使用しないでください。 調光機能付壁スイッチなどの調光器と組合せて使用しないでください。 火災の原因となる場合があります。 ●調光器の取りはずしが必要です。 調光器の取りはずしには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。	■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらないでください。 やけどの原因となる場合があります。 ●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

各部のなまえと取付け方

警告 器具の取付けは、説明書にしたがい確実に行ってください。
取付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

注意 器具取付けの際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

1. 配線器具を確認する

天井の配線器具を確認する。

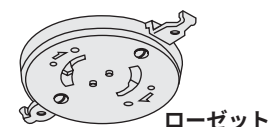
取付けできる配線器具



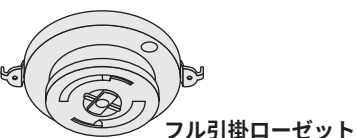
角型引掛シーリング



丸型フル引掛シーリング



ローゼット



フル引掛ローゼット



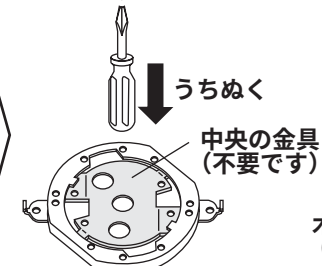
埋込ローゼット
(引掛ハンガーなし)

取付け金具の
取付けが必要です

本体止めネジの
付替えが必要です

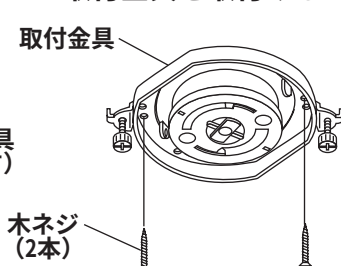
器具別
が具売
必への
要の配
で取線
す替

2. 中央の金具をはずす



うちぬく
中央の金具
(不要です)

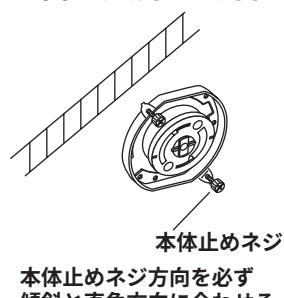
3. 補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で取付金具を取付ける



取付金具
木ネジ
(2本)

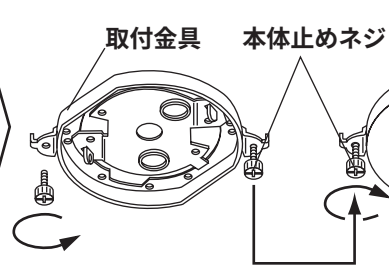
取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

斜め天井の場合



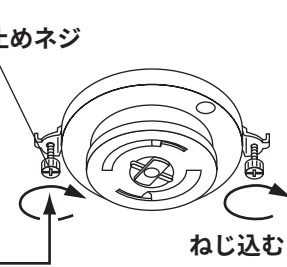
本体止めネジ
本体止めネジ方向を必ず
傾斜と直角方向に合わせる。

2. 本体止めネジをはずす



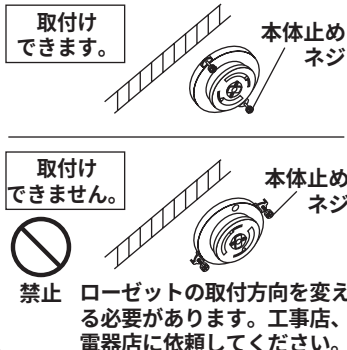
取付金具
本体止めネジ

3. 3回転 本体止めネジをねじ込む



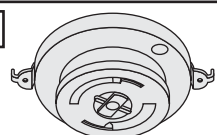
ねじ込む

斜め天井の場合

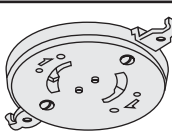


取付け
できます。
本体止め
ネジ
取付け
できません。
本体止め
ネジ
禁止 ローゼットの取付方向を変え
る必要があります。工事店、
電器店に依頼してください。

別売



フル引掛ローゼット

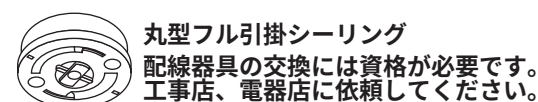


ローゼット

配線器具の交換には資格が必要です。工事店、電器店に依頼してください。

●ボルトによる取付け、アウトレットボックスに取付ける場合は、工事店・電器店に依頼してください。

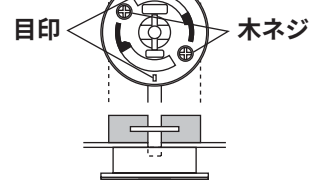
付属部品



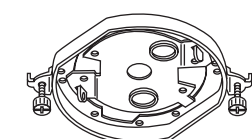
丸型フル引掛シーリング
配線器具の交換には資格が必要です。
工事店、電器店に依頼してください。

警告

目透かし天井に取付ける場合は、目透かし
方向を目印に合わせて取付けて下さい。
落下によるけがのおそれがあります。



目印
木ネジ



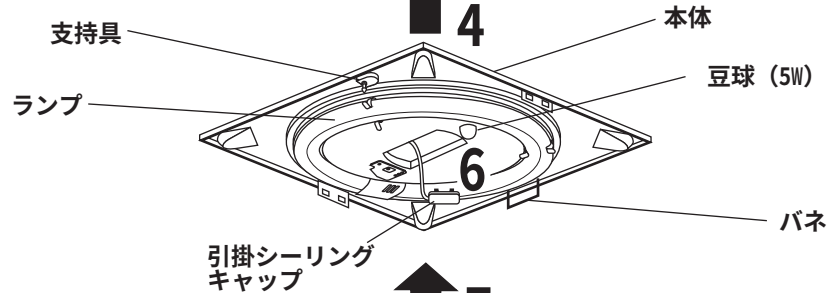
取付金具



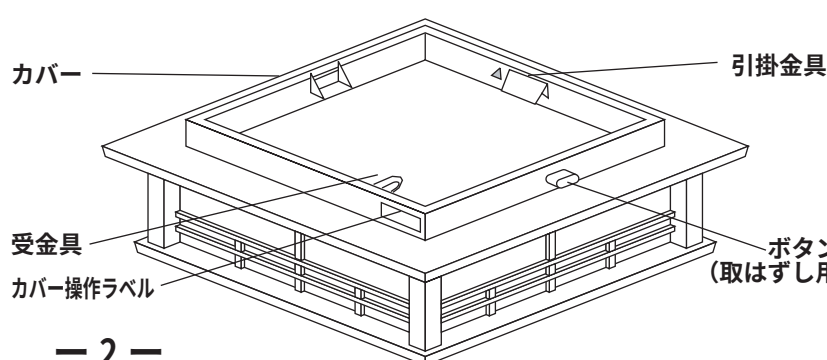
木ネジ (4本)
取付金具用2本
配線器具用2本



取付金具
配線器具
本体止めネジ
フル引掛
ローゼット



支持具
ランプ
本体
豆球 (5W)
バネ
引掛シーリング
キャップ



カバー
引掛金具
受金具
カバー操作ラベル
ボタン
(取はずし用)

4. 本体を押上げ右にまわす

本体止めネジとダルマ穴を合わせて

5. 本体止めネジを締め付ける

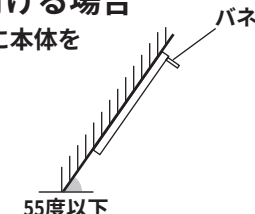
ドライバーなどで

取付けが不完全な場合、
落下によるけがの原因となります。

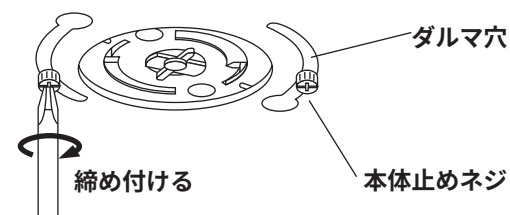
55度以下の斜め天井に取付ける場合

傾斜方向の上側にバネがくるように本体を
取付けてください。
55度を超える天井には取付け
できません。

取付けに不備があると、カバーの
落下によるけがの原因となります。



55度以下



締め付ける

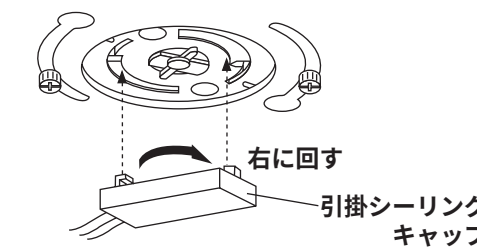
ダルマ穴

本体止めネジ

6. 配線器具に引掛シーリングキャップを取付ける

●止まるまで右にまわす。

接続が不完全な場合、火災・
落下によるけがの原因となります。



右に回す

引掛シーリング
キャップ

7. カバーを押上げる

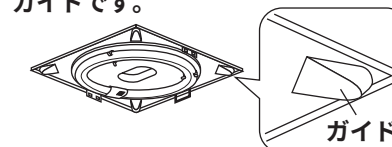
本体に合わせてカチッと音がするまで

本体の赤ラベルとカバーの赤ラベルを合わせて、
カバーを押上げる。

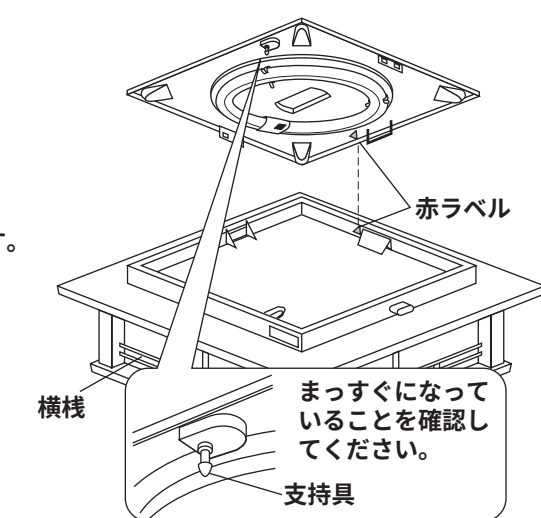
●本体にカバーが確実に取付いていることを
確認してください。

取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。
押し上げ時に横桟を押えないでください。

●本体四隅の突起はカバー取付け時の
ガイドです。



ガイド



まっすぐになって
いることを確認し
てください。

支持具

■仕様

カタログ番号	型 番	周波数	使用電圧	消費電力 (リモコンOFF時 1.5W以下)	付 属 ラ ン プ	質量
W-834	69W J-24B 0-B 5	50/60Hz 共 用	AC100V	91W	100形ツインパルック蛍光灯 FHD100	4.6kg
W-83 6	69W J-26B 5-B 5	50/60Hz 共 用	AC100V	91W	100形ツインパルック蛍光灯 FHD100	5.8kg

操作方法

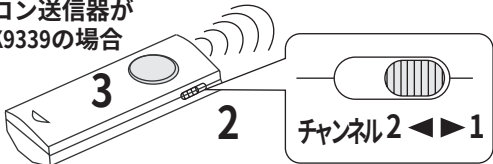
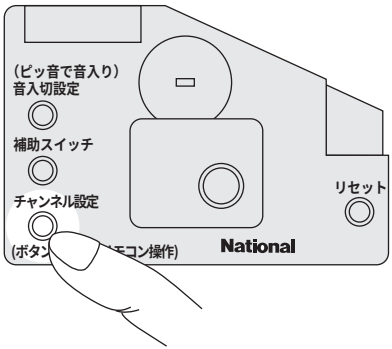
■1部屋で複数のリモコン照明器具を使用する場合

工場出荷時は照明器具のチャンネルは2（またはⅠ-2）に設定されています。
1台のチャンネルはそのままにして、2台目・3台目のチャンネルを設定してください。

チャンネル設定のしかた

<例>チャンネルを1に設定する。

1. 「チャンネル設定スイッチ」を押す
2. リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる
例) リモコン送信器が Z-654W・HK9339の場合
3. 器具に向けてリモコンのいずれかのボタンを押す
4. 「ピッピー音」がして設定完了します



■リモコン受信部のはたらき

音入切設定スイッチ

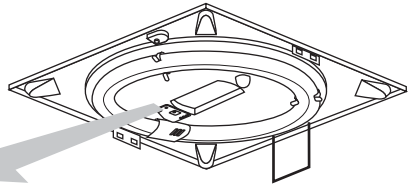
リモコン操作時の音の入←→切。
「ピッピー音」で音入り、無音で音切れになります。

補助スイッチ

壁スイッチがなく、リモコンが使えない場合(電池切れ、故障、紛失のとき)に器具の全灯←→消灯ができます。

チャンネル設定スイッチ

このボタンを押してから、リモコンを操作します。
(上記「チャンネル設定のしかた」の項参照)
※出荷時のチャンネルは2 (又はⅠ-2) に設定されています。
器具施工時にチャンネルが変更されている場合がありますので
上記「チャンネル設定のしかた」を参照の上、ご確認ください。

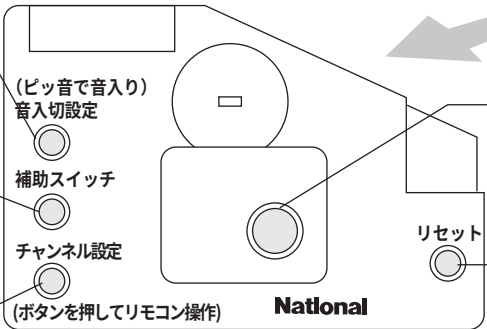


リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
(傷つけたり、汚したりしないでください。)

リセットスイッチ

動作が異常の場合に押します。
(P.7「こんなときには」の項参照)
※リセットスイッチを押した場合は、
器具出荷時のチャンネル2
(又はⅠ-2)に戻ります。



使用上のご注意

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。
- 電波の弱い場所（山間部・鉄筋建物など）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くでは赤外線リモコンが動作しないことがごくまれにあります。
- 冬場など周囲温度が低い場合は、明るくなるまで時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 非常に短い停電が起こると点灯状態が切替わることがあるため、長時間使わない場合は壁スイッチをOFFにしてください。

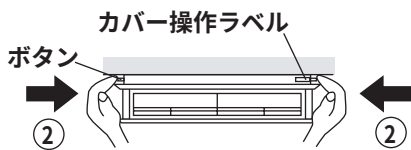
ランプ交換について

●ランプが黒化して明るさが低下したり、消灯か点滅をくり返すとランプの寿命です。器具に合った専用ランプ（ツインパルック蛍光灯）をお求めください。

ランプ交換方法

1. カバーをはずす

- ボタンを押して
- ① カバー操作ラベルが見える位置に立つ。
 - ② ボタンを押しながらカバーを引き下げる。

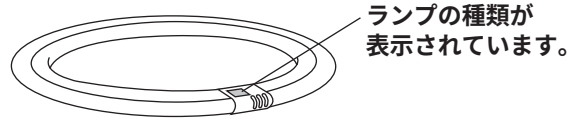


注意
カバー操作ラベルが貼り付いていない側からはずされた場合は、器具落下の原因となりますので再度カバーを装着し、カバー操作ラベル側からはずしてください。

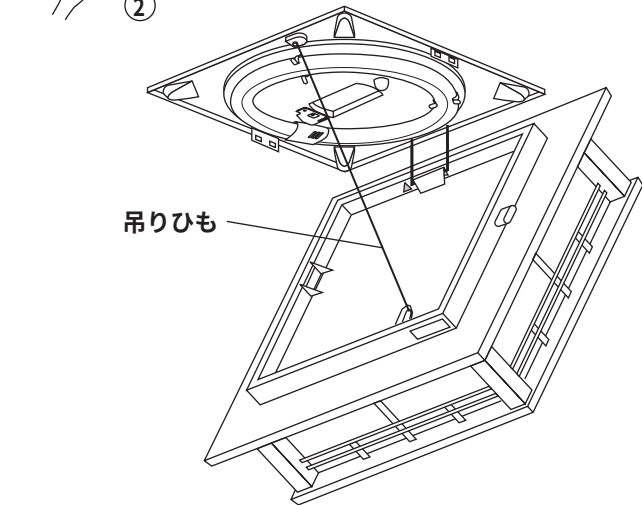
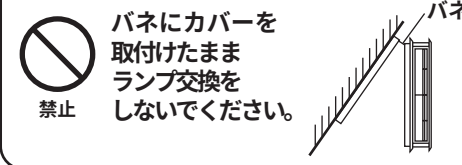
●吊りひもを取付けたままランプ交換ができます。

注意
カバーを仮吊りの状態で引張ったり、ランプをカバー内に置かないでください。カバー落下の原因となります。

注意 ランプ交換の際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

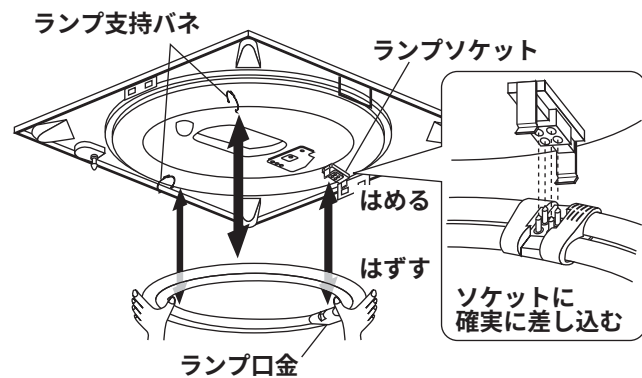


傾斜天井についている場合



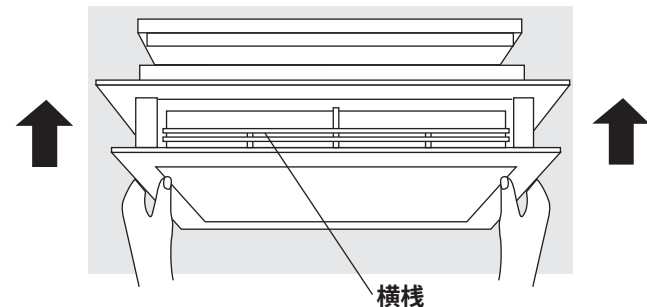
2. ランプを交換する

●取付け、取りはずしはソケット側から行う。点灯時、消灯直後はランプおよび本体が高温になっておりますのでご注意ください。



3. カバーを押し上げる

本体に合わせカチッと音がするまでカバーが確実に取付いていることを確認してください。
取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。押し上げ時に横棧を押さないでください。



お手入れについて

注意 お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6ヶ月に1回程度）に清掃、点検してください。汚れがひどい場合は、石けん水にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

カバーを完全にはずす場合

1. カバーをはずす

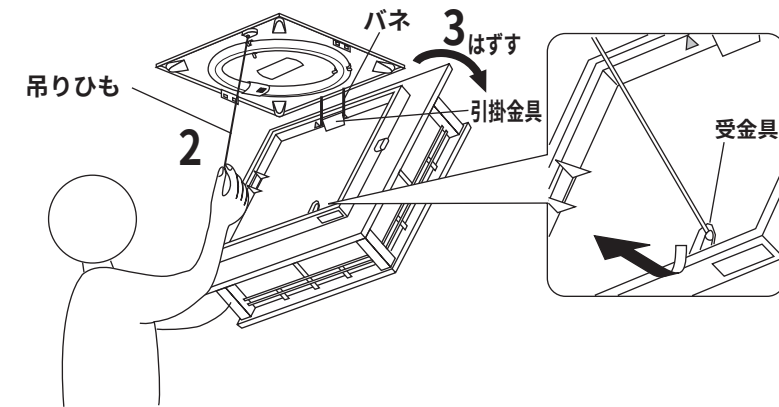
P.6の「1. ボタンを押してカバーをはずす」の項をご参照ください。

2. 吊りひもをはずす

本体まで静かに収納してください。

ご注意 吊りひもが完全に戻るまで手をはなさないでください。ひもを伸ばしたまま手をはなすと故障、けがの原因となります。

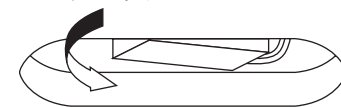
3. バネから引掛金具をはずす



本体のはずし方

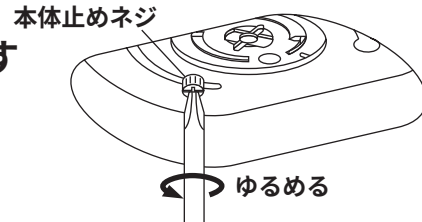
1. 引掛シーリングキャップをはずす

●引掛シーリングキャップを左にまわす



2. 本体を左へまわす

本体止めネジをゆるめ



こんなときには

故障と思われる前に以下の表に従って異常がないか点検してください。

現象	原因	対策	左記の対策を行っても現象が続く場合	さらに現象が続く場合
リモコンで操作できない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにする。	① 電源をいったん切り、再度入れる。 ② 器具内スイッチのリセットスイッチを押す。リセットスイッチを押した場合チャンネル2（又はⅠ-2）に戻ります。	ただちに電源を切り、工事店・電器店、別紙ご相談センターにご相談ください。
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない。	チャンネル設定スイッチを押した後リモコン操作する。		
	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換する。		
	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れる。		
補助スイッチで操作できない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにする。		
	ランプが切れている。	ランプを交換する。		
壁スイッチで切替えできない	ランプ、豆球が切れている。	ランプ、豆球を交換する。		